

## 三商レポート

### 第三十六話 「フォロー・ミー」

(株) 三商 内藤 雄

結婚まもない夫が、妻の行動に不審を抱く。“妻とはこうあるべきはずだ”という期待通りに、妻が生きてくれないからだった。他に好きな男ができたのではないかと疑った夫は、一人の探偵を雇う。その日から、その探偵が妻の後について歩く。常に一定の距離を置いて。決して口はきかずに。ただひたすら彼女の後を。しかし、彼女の後について歩いていたその探偵が、皮肉なことに、彼女にひかれていく。自分の人生の中に一生懸命意味を見つけようとしている彼女の姿にひかれていくのである。調査の報告をする日、夫が問う。「どうだ、やっぱり男がいただろう」。その問いに答える代わりに探偵は言う。「今日からはあんたが、あんたの奥さんの後について歩いてご覧なさい。常に一定の距離を置いて。決して口はきかずに。ただひたすら彼女の後を。(そうすればあんたも、もう少しマシな男になるかもしれない) さあ、行きなさい」と。(カウンセラー・上嶋洋一先生の講座資料から)。

キャロル・リード監督・ミア・ファロー主演の映画「フォロー・ミー」のお話である(1972年製作。イギリス映画)。

夫は、上流階級の会計士。妻は、上流階級の社交など堅苦しい生活より、自分らしく自由な生き方がしたい。「この家には愛が必要なのに、この家にはききたりだけしかない。」と嘆く。日ごとに無口になり、毎日出かけて夜遅くに帰ってくる。妻は、やがて自分の後について歩く奇妙な男との目だけでの語り合いや一緒に歩くことが楽しくなってくる。ところがこの男が夫の雇った探偵と知り、妻は怒って家を出る。夫も探偵に食ってかかる。探偵は、夫婦が互いに愛し合っていることを知り、粋な計らいをする。そして2人にひとつの提案をする。それは、ロンドン市内を歩き回る妻に、10日間ひたすらついて歩くこと。ひとことも言葉を交わさずに。一定の距離を置いて。ひたすら彼女を見て。

夫は、ロンドン市内を一定の距離を置いて、ひと言も口をきかずに彼女の後について歩く。同じ時間を過ごし、同じものを見て感動を共にする。夫は次第に嬉々として彼女の後を歩くようになる。彼女だけを見ながら。そして、結婚して以来ちゃんと「彼女」を見ていなかったことに気づく。夫の態度の変化が妻の“心の雪”をとかしはじめた。ジョン・バリーの名曲と共に。

映画を理屈っぽく観たり、余計な解説をしたりしてはいけないのですが、気づかされます。自分の価値観・人生観はひとまず脇に置いておく。批判せずに相手があるがままに認めて受け容れてみる。その上で、少し距離を置いて相手を理解しようとする。その結果、初めて相手のことが見えてくることを。

(2007年6月5日)

## 【セミナーのお知らせ】

いま注目の13人のファイナンシャル・プランナーが大激論！

「知らないと損をする」～年金・保険・相続・運用～

NPO 法人 生活設計支援センター 主催

第2回 セミナー&個別相談会

日時 : 7月5日(木) 14:30～20:20

場所 : 立川グランドホテル 3階

カトレア・ダーリア・ローザ

- ☆ **特別セミナー** (定員30名) 4部構成 総合司会: 田中尚実
- 第1部 (年金) 14:30～15:50 「大丈夫? あなたの年金!」  
(パネラー: 新原ひとみ・鈴木みな子・森江加代)
- 第2部 (保険) 16:00～17:20 「生保・損保を賢く利用する方法」  
(パネラー: 伊藤 晃・都倉健太・佐藤里子)
- 第3部 (相続) 17:30～18:50 「幸せになれる相続・なれない相続」  
(パネラー: 平井利明・内藤 雄・田中康雅)
- 第4部 (運用) 19:00～20:20 「金融機関では教えてくれない投資の常識」 (パネラー: 三村 明・平野泰嗣・平野直子)
- 個別相談会** (6組限定・事前予約制・相談時間50分)

★参加費: お菓子とお飲み物つき

セミナー (1日) お一人3000円 ご夫婦5000円

個別相談 (1組) 5000円

★ 申込方法: 電話 042-525-8822 \*平日のみ9時～18時

FAX 042-548-7639 (24時間受付)

WEB <http://lifeplan.dreamblog.jp/18/18/> (24時間受付)